



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

882 2023年11月26日

日本共産党荒川区議会議員団

区役所控室 3802-4627

横山事務所

荒川区町屋5-3-5

&fax 3895-0504

定例法律相談

12月4日(月)

18時~20時

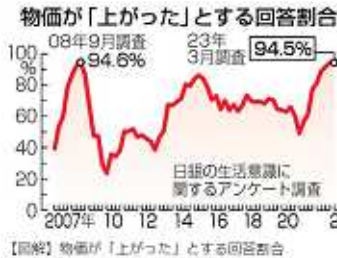
横山区議事務所

お気軽にご相談を

11月
区議会

来年度・くらし最優先の積極予算編成と 区の責任で公共サービスの質の確保を！

日本銀行「暮らし向き調査」より
暮らし向きについては、1年前と比べて「ゆとりがなくなってきた」と答えた割合が57.4%と前回から増加、5回連続で半数を超えた。その理由は「物価が上がったから」が88.7%に上り、「収入が減ったから」(34.5%)などを大きく引き離れた。



21日から荒川区議会11月会議が始まりました。日本共産党区議団は、小島和男、斉藤くに子、北村あや子各区議が一般質問を行いました。内容を順次お知らせします。

物価エネルギー高騰が区民の暮らしと営業を直撃 中小事業者に電気ガスなど光熱費補助で支援を

物価エネルギー高騰からくらし、営業を守ることは、政治の最大課題です。区民アンケートでは昨年より生活が苦しくなったが72%、理由の第一が「物価上昇88.7%」です。9月の日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」でも同様の結果です。(左囲み参照)

区は、「物価高騰の影響

福祉、介護、保育について区が専門職員を配置し直接サービスを行う現場を持つことを求めました

荒川区では、指定管理と私立の認可保育園で40%22園で株式会社運営。学童クラブ業務委託では9クラブ22%に株式会社が入参しています。専門職で成り立つ福祉分野の事業で利益確保のためには削られるのは人件費です。また区の直営は、高齢者施設ゼロ、障害者施設1、学童クラブも2つしかありません。

現在では民間が撤退することになれば区民サービスは成り立たなくなります。どこでも人手不足が言われています。賃上げと労働条件の改善は待たないです。質の確保のためにも民間委託をこれ以上行わず区民サービスの根幹である福祉、介護、保育について区が専門職員を配置し直接サービスをを行う現場を持つことを改めて求めました。

区はこれまでと同じ「民間のノウハウの活用」などと民営化路線推進の考えを示しました。公共サービスでの区の責任が問われます。

「子どもインフルエンザワクチン接種」...補助が来年度から実施へ

区は、子どもへのインフルエンザワクチン接種の補助すると区議会で表明。荒川区は、これまで就学前の慢性疾患や障害のある方への補助を行ってきましたが、その対象を拡大するとしています。日本共産党区議団も毎年の予算要望で求め、実現する運びにきめ細かい対応を図っていくとの認識を示しながら具体的な施策については触れませんでした。



「町屋さくら復活・移動の自由保障を考える」...16 自民のコミュニティバス関連の質問の真意は？

11月会議で自民党若林議員から「補助331号線を活用したコミュニティバスの運行について」という質問がありました。要は、南千住の331号線開通を機会に「さくら」を通してほしいというもの。同時に、2024年問題と運転手不足でコミュニティバスが厳しい状況に置かれている事もあげていました。さらに汐入地域内を自動運転バスを走行させては...なども提案。町屋さくらに廃止に賛成したことには一言も触れずに、新たな提案でした。違和感を感じたのは、私一人でしょうか。自動運転システムというが誰がお金を出して整備するのでしょうか。莫大な初期投資が必要です。そんなことをいまでも苦しい経営のバス会社が負担するわけがありません。全ての解決の道は、区が一定のルールの下で赤字補てんして運行するしかないのです。

物価高騰の中、歳末商戦と地域経済に求められる本気の商業振興...

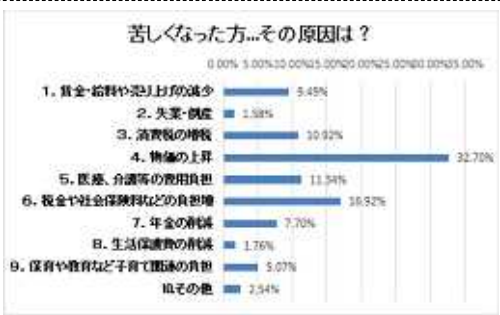
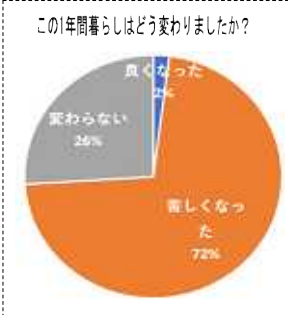
今年もあと1カ月余となりました。年末といえば、地域の商店街は歳末売り出して活気づくものでした。しかし昨今は、地域の個店が減少、なかなか往時のようには行きません。地域に個店が無くなり、その後も大型店・ドンキホーテが撤退などで尾竹橋付近に「買い物困難地域」が出現。区内に買い物弱者が増えています。「近くにお店がなく困っている」などの声もたくさん聞かれます。やはり、区としても事業者



横山幸次

31回区民アンケート

「暮らしが苦しくなった」72%…など深刻な実態 物価高騰・税・社会保険負担増が原因



寄せられた願い、声をしっかりと区政に届け、区民が主役・区民参加で創る荒川区政を

31回目となる今年の区民アンケートには、過去最高の約1900に迫る回答が寄せられています。ご協力ありがとうございました。

今回の特徴は、一面でもお知らせしたように、物価エネルギー高騰などで暮らしの困難が広がって来ていることです。また、来年度からの介護保険料改定についても引き下げを求め、また設問への回答以外に、

「都営住宅も当たらない、ここで生きていけない自信はない」…などごく一部ですが本場に切実な声が多く寄せられています。こうした声を区政にしっかりと届け、区民のみならずとも創る荒川区政実現へ、引き続き

018 サポート 申込みはお済ですか

東京都が18才以下のお子さんに月5000円を支給する事業。基本はオンライン申請となっていますが、「わかりにくい」「面倒」などの声があります。

9月1日の受付開始から11月16日現在で対象の約6割の申請で、まだの方も多ようです。下記のコールセンターによると、問合せも多く、受付から自宅に書類が届くまでに2週間程かかるとのことでしたが、郵送での受付も行っています。

12月15日までに申請を受け付けた分について、来年1月に一括で支給する予定です。支給時期が1月より遅くなるようですが、16日以降も申請は受け付けます。

生活保護家庭も受けられます。収入認定されません。

郵送で申請するには、下記に電話して申請書類を送ってもらってください。連絡先：東京都018サポートコールセンター 0570-082-018 午前9時～午後6時(12/29～1/3除く)

調査結果から見えてくる町屋さくら復活の展望

今回コミュニティバス不要は、8%程度。一番は「コミュニティバスを区内全域に」でした。高齢化が進む中、町屋さくら復活と区内全域での運行を求める声を広げる先に展望が見えてくると思います。

町屋さくらを再開して欲しい	401
さくら・汐入さくらの運行サービスを良くしてほしい	302
ほかの地域にもコミュニティバスを運行してほしい	445
デマンド交通に期待している	148
コミュニティバスは不要	104
どちらともいえない	439

今週のデータ 岸田政権発足から14万円以上の賃下げ！ 実質賃金18カ月連続マイナス

岸田政権の支持率は、去る10月の28.3%から、11月の27.1%へと低下している。また、実質賃金は18カ月連続でマイナスに転じた。国民の支持率は、岸田政権の支持率と一致しているようである。

岸田政権発足から14.3万円賃下げ
所得税減税4万円では10万円超足りない
自公政権発足から32.4万円賃下げ

2021年10月岸田政権発足
2023年1～9月平均は318.01万円

プレミアム付き区内共通お買物券…販売

ハガキでの申込
12月3日(日)～8日(金)必着
住所 氏名(ふりがな) 電話番号
希望冊数(1冊から3冊まで)を記載
〒137-8691
日本郵便(株)新東京郵便局私書箱106号
(株)アテナ内第21弾プレミアム付き荒川区
区内共通お買物券事務局

12月2日(土)午前10時からプレミアムの販売が区内19カ所で行われます。【売切れ次第終了】

WEBでの申込
12月3日(日)午前0時～
8日(金)午後11時59分

商店街での販売総額 申込総額が上回った時は抽選。
【1億2,000万円】ハガキ 当選者には引換券送付。
・WEBでの販売総額 引換は12月23日(土)～25日(月)
【2400万円】となってい 13時～19時
ます。前回、直接販売は サンポップマチャ正面入口
即売券、ハガキ・WEB は4.4倍で抽選でした。
荒川区は20%プレミアム分の2400万円を出しています。ハガキ・WEBでの販売額を増やせないか？全体の販売総額を増やせないか？区民の要望から検討が必要と思います。